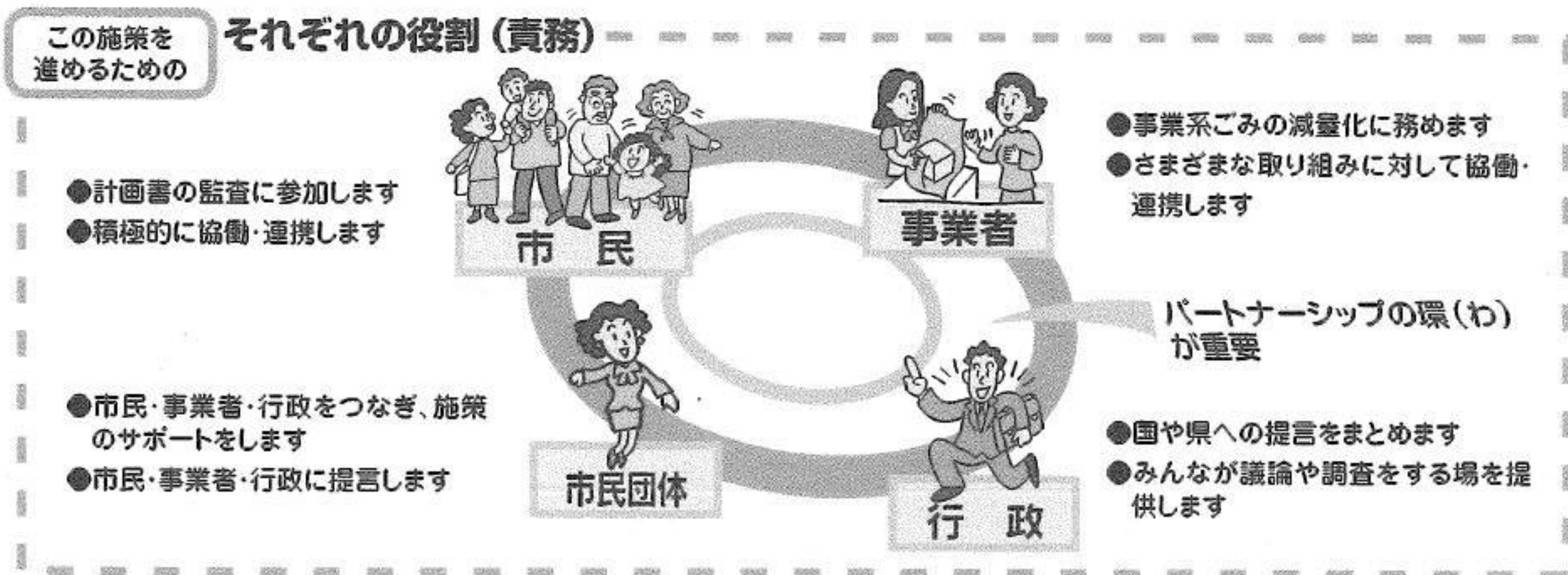
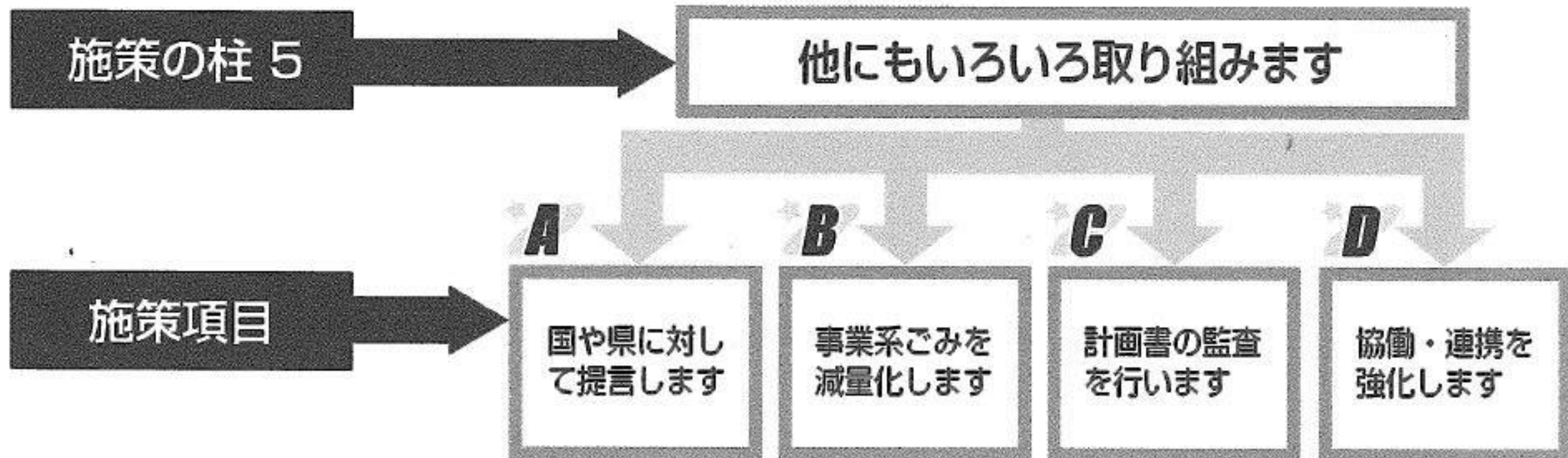


# 5 .....他にもいろいろ取り組みます

他にも、目標を達成させるために重要で不可欠な方針や施策があります。



## A 国や県に対して提言します

**なぜやるの？**

- 国や県に提言することで、より良い社会制度づくりを進めるため
- 法律や条例が変わらないと取り組めないことがある

**具体的に何をやるの？**

- 容器包装リサイクル法の改正について提言します
- デポジット制度の普及について提言します
- 環境に関する情報（地球温暖化の状況など）や新しい制度を、国や県から市民に周知してもらうことを提言します

## B 事業系ごみを減量化します

### なぜやるの？

- 事業系ごみが、家庭系ごみ（燃えるごみ、燃えないごみ、資源物）の中に混ざって出されている
- ごみ減量を進めるためには、事業者の協力が不可欠なため
- 環境に配慮した事業者が認められるシステムづくりを促進するため

### 具体的に何をやるの？

#### 「減量強化の制度づくり」

- 事業系ごみ減量対策委員会等を設置し、事業者による自主的な取り組みを推進します
- 事業者のごみ減量の取り組みに対する客観的評価システムの導入を検討します
- ごみ減量推進事業者への顕彰・支援制度の導入を検討します
- 排出量の多い事業者に対する減量計画書作成の義務付けや、その結果を公表するような制度の導入を検討します

#### 「制度の見直し」

- ごみ処理料金（直接搬入手数料）の適正化を進めます
- 家庭系ごみとみなす事業系ごみの排出量の基準について見直し・検討します

#### 「働きかけ・情報提供」

- 使い捨て容器・レジ袋などの使用抑制や、自主回収・修理体制の整備などの協力を働きかけます
- ごみの減量化に必要な情報を事業者に提供します

## C 計画書の監査を行います

### なぜやるの？

- 計画の達成度を検証・評価することで、この計画書を「絵に描いた餅」にせず、計画の実施に拍車をかけるため

### 具体的に何をやるの？

- 毎年、計画の達成度を検証・評価し、次年度以降の実施計画に反映し、それを市民に公開します

## D 協働・連携を強化します

### なぜやるの？

- ごみ問題は社会全体の問題であり個々の連携が不可欠なため
- 一部の人の知恵や努力では解決できないことでも、協働・連携を図ることで解決しやすくなる

### 具体的に何をやるの？

- 市民・市民団体・事業者・行政区（自治会）・学校（小中高大学）・行政などのさまざまな立場の人どうしが協働・連携し、ごみ減量施策に取り組みます
- 市役所内での部署内の連携を進めます